



## 資料6

### 低炭素モビリティ・電子地域通貨ワーキンググループ 活動報告

第4回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市環境部会議室

平成23年11月29日(火)

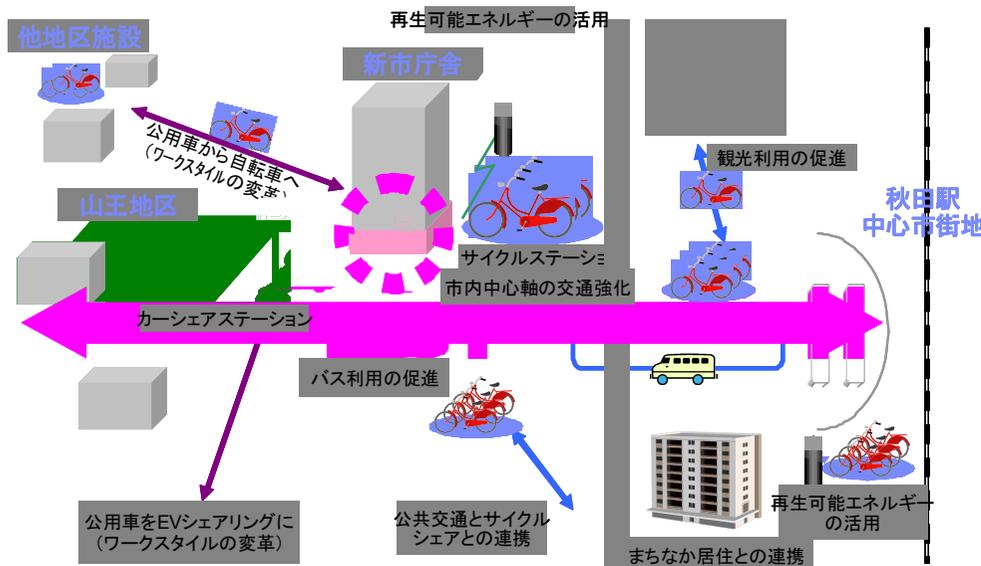
## 1. WGの活動方針(再掲)

# 1-1. モビリティ・地域通貨\_WGの概要

モビリティ・地域通貨WGでは、下記2つのプロジェクトの具体的な内容と実現方策について、事業者を交えながら検討する。

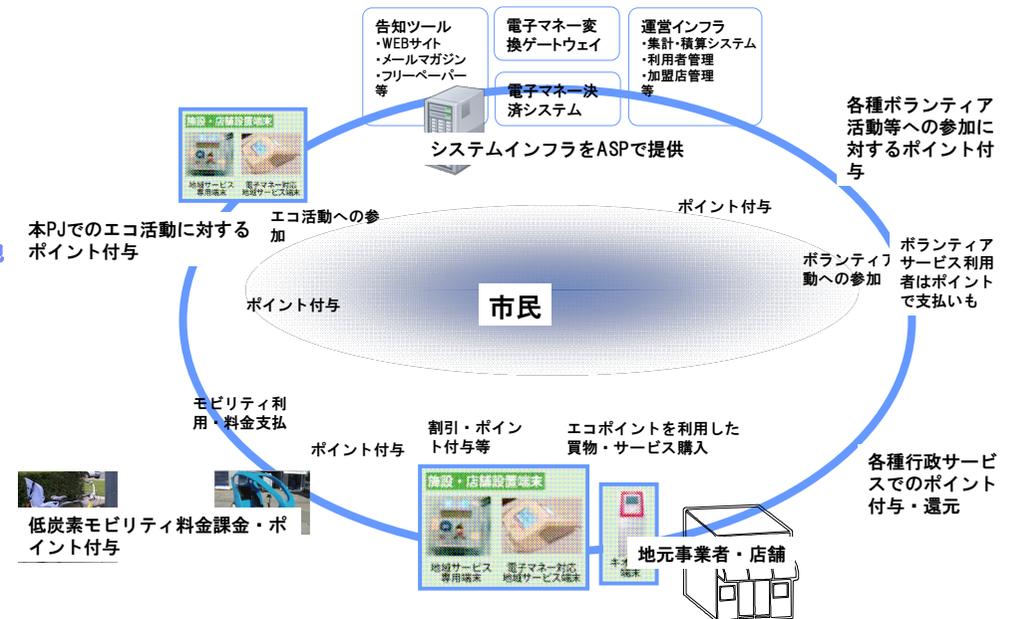
## 低炭素型モビリティ事業

- ・電気自動車(EV)や自転車等の積極導入、既存公共交通との連携による利用促進。
- ・情報統合基盤、地域通貨、グリーンツーリズムとの連携。
- ・今年度は、公共交通事業者、参画企業との調整を行う。



## 電子地域通貨導入事業

- ・市民の省エネ、エコ活動に対するポイント付与の仕組みを導入。
- ・既存の市民還元事業や普及啓発のための取組みを活用しポイントの原資とすることを想定。



## 1-2. モビリティ・地域通貨\_WGの活動方針

活動内容及び協議すべき事項は以下のとおり。今年度は、事業者等の受け皿組織の設立と、事業内容の検討を実施する。

### 低炭素型モビリティ事業

- ・ **事業スキームの検討**  
ー民間受け皿組織の設立 等
- ・ **公用車カーシェアリングの検討**  
ー最初のPJとして、公用車の最適化&カーシェアリング事業の実施可能性を検討
- ・ **個別の取り組み内容の具体化**  
ーカーシェアリング、サイクルシェアリング、公共交通利用促進、IC等での利用促進等のプレイヤーと取り組み内容の具体化(適宜)

### 電子地域通貨導入事業

- ・ **事業スキームの検討**  
ー民間受け皿組織の設立 等
- ・ **庁内ノベルティ、ポイントの洗い出し**  
ー庁内で出している市民へのノベルティやポイント等の洗い出し
- ・ **利用するシステムの検討**  
ー汎用型、地域限定型等、目的とコストで比較検討
- ・ **移行・導入に係る課題抽出**  
ーコスト、市民への周知、地元事業者、庁内合意形成、将来的な展開イメージ等  
※ほっぺちゃんカードとの連携については、現在の普及状況を踏まえ、別途検討が必要

---

## 2. 電子地域通貨の取り組み状況と今後の方針

## 2-1. 電子地域通貨の取組みと今後の方針

---

### (1)これまでの取組み

- ・「スマートコミュニティ構想普及支援事業」に、再生可能エネルギーの環境価値の還元及び地域経済循環の仕組みづくりとして、電子地域通貨の導入可能性検討を申請。(非採択)

### (2)今年度の取組み方針

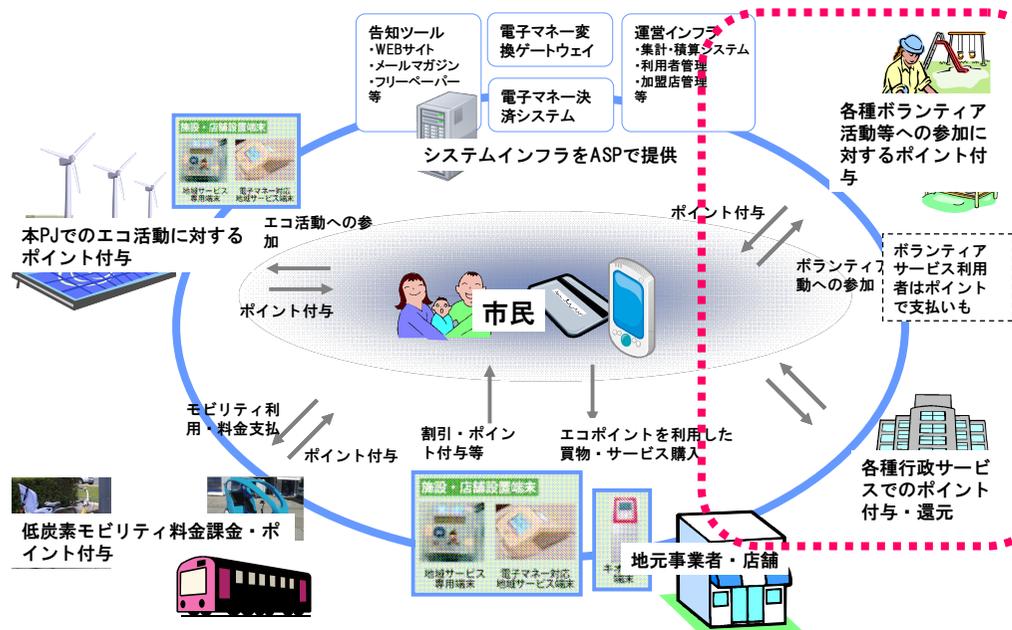
- ・今年度、電子地域通貨導入の契機として、現在市役所から市民へ提供されている既存のポイントやノベルティを整理し、電子地域通貨による付与への代替可能性を検証。

### (3)来年度の取組み方針

- ・電子地域通貨の導入に向け、導入する仕組み及びシステムの比較検討を実施し、将来的な活用の広がりを見据えた導入可能性を検討する。
- ・導入に向け、事業者への発注方法や、ポイント制度の運用方法について、骨子を検討する。

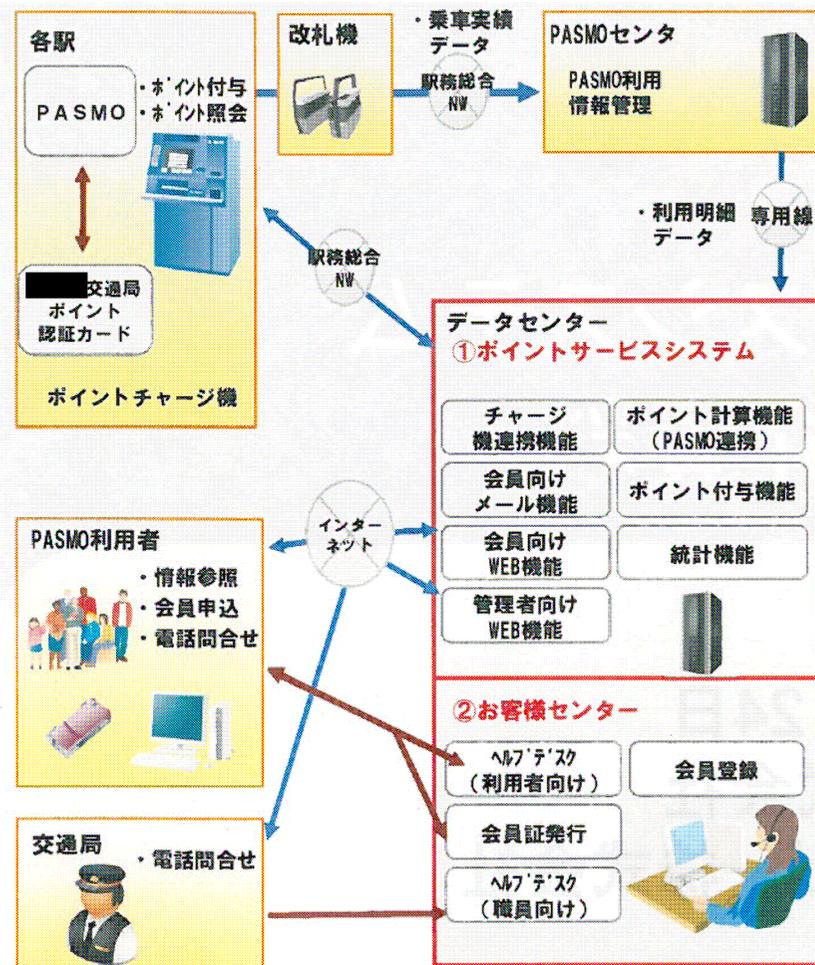
## 2-2. 今年度の検討イメージ

- 市役所において想定される既存のポイントについて洗い出し
- 代替可能なポイント&ノベルティの配布対象、予算額、配布場所・方法などを整理する。
- 別途、導入可能性のある電子地域通貨システムの事例調査を実施する。(次年度調査に向けて)



## (参考) 想定される地域通貨システム事例

(富士通) 某交通局でのICカードシステム



(フェリカ) 杉並区での電子地域通貨システム



## 2-3. 2012年度 検討項目 導入システムの比較検討

### 【秋田市での導入における課題・条件】

- ・市のポイント付与から、市全域へ展開していく。
- ・地元商業の導入促進のために、安価かつ簡易なインフラ・端末
- ・ほっぺちゃんカードとの融合・統合？が円滑に行われること
- ・地元経済循環へ寄与（大手資本への流出を防ぐ？）
- ・将来的に、公共交通のICカードとの連動、低炭素モビリティ事業との連動、民間によるシステム管理・通貨発行業務へ移行することへの対応（地域内で成立するビジネスモデルとする）

### 【調査内容案】

#### 電子地域通貨導入システム検討調査（仮）

##### ①エコポイントの要件整理

- ・初期段階でのシステム、機器
- ・提供サービスの要件
- ・将来的な公共交通ICカードや低炭素モビリティなど、市全域での利用想定等

##### ②導入可能性のあるシステムの抽出

- ・フェリカ、富士通、QRコード型等事例調査

##### ③システム毎の性能比較検討と評価

- ・事業者ヒアリング、対象システム等の比較検討の実施

##### ④導入に向けた課題整理

### 【分析・検討イメージ】

	基本機能	必要システム	必要機器	コスト(I/R)	汎用性	発展性
フェリカ	○	△	×	×	○	○
富士通		△	△	△	△	△
QRコード?	△	○	○	○	×	×
.....						

導入可能性のあるシステムの比較検討及び事業化に向けた基礎調査を実施

### 3. 低炭素モビリティ事業の取り組み状況と今後の方針

## 3-1. 低炭素モビリティ事業の取組みと今後の方針

---

### (1) これまでの取組み

- ・「スマートコミュニティ構想普及支援事業」に、低炭素モビリティサービスの地域の受け皿となる「SS倶楽部」の事業可能性検討及び低炭素モビリティサービス(公用車の低炭素化検討を含む)の事業可能性検討を申請。(非採択)

### (2) 今年度の取組み方針

- ・低炭素モビリティサービスの受け皿組成に向け、地元事業者との協議を推進中。

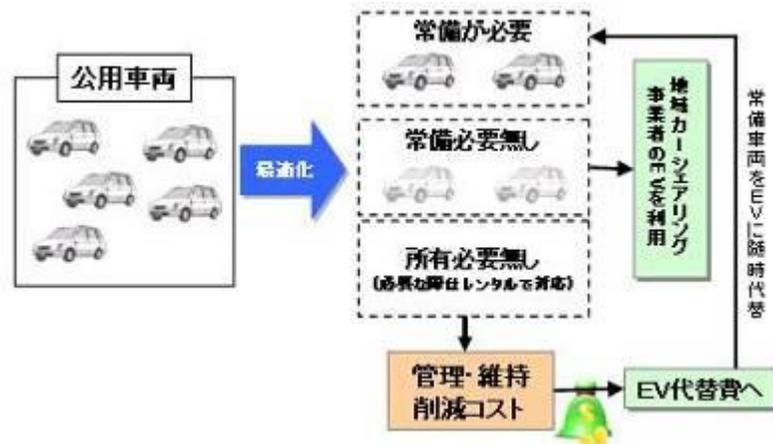
### (3) 来年度の取組み方針

- ・低炭素モビリティ事業の一つである「公用車の低炭素化とカーシェアサービスの導入可能性検討」について、現状分析から改善提案までの調査業務を実施する。

## 3-2. 2012年度 検討内容（1）公用車両の低炭素化計画の策定

公用車両の保有台数の最適化から、車両の削減および低減された管理・維持コストを活用した無理のない低炭素車両（EVなど）導入計画を策定し、市の公用車における二酸化炭素排出量削減にむけた実行計画づくりを進めます。

### 【公用車の最適化分析からEV導入へのイメージ】



- ① 公用車両の利用状況を分析することで庁内業務に対応できる必要最低限の保有台数（常備が必要な車両）を算出します。
- ② 庁内業務で時々必要となる車両（常備が必要のない車両）については、EVを保有する地域のカーシェアリング事業者等と有償契約を利用します。
- ③ 車両削減による管理・維持削減コストを活用して常備が必要な車両を順次低炭素車両（EVなど）に更新することで二酸化炭素排出量を削減します。

### フェーズⅠ：【2012年度上期（半年間）予定：公用車両の最適化の可能性調査の実施】

公用車両の最適化による低炭素化計画を策定するにあたり、公用車両の利用状況を分析し、削減可能な車両があるかどうか調査します。  
（スケジュール詳細は次頁参照）

### フェーズⅡ：【2012年度下期以降を予定：低炭素化計画の策定】

上期にて公用車両の最適化が可能な場合には、現状の車両の管理状態から所有の必要のない車両および常備が必要のない車両の削減計画、EVの導入のための実行計画を策定します。

## 3-2. 2012年度 検討内容（2）公用車両の低炭素化計画の策定

---

### 【調査内容案】

#### フェーズⅠ：公用車両の最適化の可能性調査の実施

- ①前提条件の整理
  - ・秋田市から受領したデータ（車両台帳等）の整理
  - ・最適化対象となる車両の選定

- ②稼働分析

- ③分析結果取りまとめ

#### フェーズⅡ：低炭素化計画の策定

- ①前提条件の整理
  - ・公用車両の管理状況（購入時期、廃車予定時期等）の整理
  - ・公用車両関連の庁内業務の整理
  - ・庁内業務のうち民間企業への委託可能な業務範囲の検討

- ②低炭素化計画の策定